01 NEWS 直売所かあちゃん研修会開く

JAの直売所運営委員会は3月29日、女性の直売所出荷会員や会員の配偶者を対象とした「かあちゃん研修会」を開きました。今年は19人が参加し、神奈川県のJAセレサ川崎農産物直売所「セレサモス宮前店」とJAあつぎ農産物直売所「夢未市」を訪れました。参加者は「視察先の直売所の良い所を参考にし、これからの商品づくりに活かしていきたい」と話しました。

直売所を視察する参加者

4 質の高い教育をみんなに

02 NEWS ハセツネ30Kにのらぼう菜提供

五日市ファーマーズセンターあいな「のらぼう部会」は3月31日、日本山岳スポーツ協会主催の「第16回日本山岳耐久レース長谷川恒夫CUP30K（ハセツネ30K）」に協力し、開催地の特産野菜「のらぼう菜」を参加賞として提供しました。「ハセツネ30K」はあきる野市内の山域を走る1周30キロメートルのレースです。今年は約1300人がエントリーし、ゴールした選手に「のらぼう菜」が手渡されました。

完走して参加賞を受取る選手（左）

12 つくる責任 つかう責任

03 NEWS 都議会自民党 直売所視察受入れ

秋川ファーマーズセンターは4月10日、都議会自由民主党の議員で構成される「都市農業政策研究会」の視察を受け入れました。同研究会の会長と会員3人が来店し、都市農業の現状および建設以来30年以上たつ施設の老朽化等を確認しました。この視察は、JAが2月に都議会を訪問し、直売型農業の重要性と直売所の現状説明をしたことから実現したものです。濱名（はまな）敬春（たかはる）センター長は店内を案内し、施設は古くとも地域の農業者にとって「核」となっていることを説明しました。

店内を案内するセンター長（右）

3 すべての人に健康と福祉を

04 NEWS 生産履歴記帳徹底へ 講習会開く

JAは4月16日、25日、26日の3日間、JA本店で直売所出荷会員を対象に生産履歴記帳システムの操作説明会を開きました。延べ34人が参加しました。

JAでは直売所で販売する農産物の全てに、種まきや農薬の使用などの作業履歴を登録する、生産履歴の記帳を義務化しています。

説明会は、操作に不慣れな会員や、スマートフォンでの登録に挑戦したい会員向けに開催し、JA職員が操作方法を教えました。

操作方法を学ぶ参加者

12 つくる責任 つかう責任

05 NEWS 第3回あぐりスクール

JAは5月11日、第3回あぐりスクールを開きました。親子に農業体験を通じて、自然や農業への興味、関心を高め農家の仕事を知ってもらうことが目的です。11家族39人が参加し、前回4月20日に種まきしたトウモロコシの間引き、ジャガイモの芽かきと土寄せ作業、サトイモ、長ネギの植え付けを行いました。

参加者は「作物によってマルチシートの種類が違ったり、植える深さがちがったり、初めて知ることも多く毎回参加するのが楽しみです」と話しました。

長ネギを植える参加者

4 質の高い教育をみんなに

06 NEWS 女性部 都女協研修旅行参加

女性部は5月22日、23日の2日間、JA東京女性組織協議会主催の研修旅行で、長野県を訪れました。部員20名が参加し、バラクライングリッシュガーデンや信州みその老舗、石井味噌、松本城を訪れ新緑の信州を満喫しました。夜はJAにしたま、西東京、東京みらいの女性部と交流しJAあきがわは「あきる野音頭」を披露しました。交流会の最後は参加者全員で「炭坑節」と「東京音頭」を踊り親睦を深めました。

参加者全員での記念撮影

4 質の高い教育をみんなに